

みんなの認知症介護をハッピーに♪

旅行を楽しむ

秋の行楽シーズンですね！
旅行といえば、
認知症の人との旅行も
ぜひ楽しんでほしいと思います。
旅行したことを
後日、覚えていないことが
あるかもしれませんが、
でも写真を撮って、後から
楽しむこともできるし
「楽しかった〜！」と
良い感情を持つことは、認知症の
進行を遅らせることにもなる。

秋を楽しむ



ただ、旅行で注意したいのは、
疲れすぎないようにすること。

認知症の人は、記憶の障害があるので
現在の自分が不安定になります。

だから、初めての場所に旅行にいくと
今自分がどこにいて、何をしているのか
何をしようとしているのかを
把握するのに、すごく疲れます。

疲れるとイライラするし、
イライラすると不穏になりやすいです。



夜中にふと起きたら、
いつもの天井じゃないし。
トイレの場所はいつもと違うし。
喉が渇いても、水道や冷蔵庫が
どこにあるかわからないし。



自分の居場所を把握しようとして
人よりも疲れてしまいます。
(もちろん、進行度合いにもよります)

だから、なるべく
疲れのないようなスケジュールを組む。
不安そうな顔をしていたら、
先回りして「どうしたの？」と聞く。

これからやること、
今やっていることを
具体的にわかりやすく説明する。

そうすることで、不安が減り
疲れも最小限にすることができます。

認知症になったからと
楽しみを減らすのではなく
楽しめる方法を考えて、
いっぱい楽しみましょう。
楽しみを提供しましょう。



もえこの

+1
アドバイス

隠すから余計ハれる。
何事も隠せば隠すほど
人々の注意を引くのです。
隠さずに普通にしていれば
いいのです。

痛くもない腹を探られるより
「うちのお母さん認知症なんです」

そういえば、みんなまっすぐに
助けてくれるのです。

「みんなの認知症介護をハッピーに」は、林炎子さん公式ブログ
「家族で支える認知症ケア」より抜粋、参照しています。

「どんより介護からハッピー介護へ
もっと楽になる考え方を伝えたい！」
林 炎子 (もえこ) さん
(ここにこハート株式会社代表取締役)

認知症になっても大丈夫。

認知症があっても大丈夫。



看護師で認知症介護歴28年の林炎子さんは、
認知症介護に携わってきた経験や知識を一人
でも多くの方に知ってほしいと、
「目からうろこの認知症セミナー」を開催さ
れています。

<http://ninchishouchi.jp/>

いつでも
どこでも
かけつける



あなたの家の
救急隊！
★電気工事全般★
★水道工事全般★
★エアコン工事全般★

でんきをみずとエアコンの
(株)太田電機工業所
阿久根店 阿久根市御町65-4 TEL 73-2800 | 出水店 出水市大野原町304 TEL 63-1966
ホームページ <http://oota-denki.com/> 阿久根市のホームページからアクセスできます。

住まいが変われば 生き方が変わる！

あなたの暮らしを
安全・安心・快適に！
変えます。創ります。支えます。

生きることは
喜び！



ケア・リフォーム 暖家だんけ

(電話 0996-73-2073)

<http://danke-care.com/>

CRS (ケア・リフォーム・システム研究会) 会員



～高齢者や障がい者(児)のためのほっと笑顔工房～

ケア・リフォーム 暖家だんけ

No. 36 * 2018年10月

(株)太田電機工業所
ケア・リフォーム事業部

鹿児島県指定
福祉用具貸与・特定福祉用具販売事業所
介護保険事業所番号4670600396

ReLife り・らいふ通信

～暮らし・生活・住環境を見つめなおして～

福祉用具
紹介

使ってみたら「あら、便利！」 スタンディ (折りたたみ可能面手すり)



スタンディは玄関やベッドの立ち上がりをサポートするのに有効です。
O様は徐々に足が弱くなり、ベッドからの移動はベッドサイドのスイングアーム
介助バーだけでは不安定でしたので、手すりを選定しました。
スタンディは椅子の部分をはらくと、車椅子からの移乗やふらついたときの一時
腰掛けにもなり安心なのと、ベースが滑りにくいマット状で立位が安定します。
また座面を使わないときは閉じて、手すりの仕様になるので邪魔になりません。



ベストポジションバーとの連携で、立つ、座る、
ポータブルトイレへの移動、車椅子への移乗に
とても使い勝手が良いと好評です。



身体の状態や障がいには個人差があり、その日の体調によってできること・できないことや、使い
やすいもの、合う福祉用具は変化します。レンタルできる商品は、状態の変化に応じて利用者様に
合うか、様々な福祉用具を試してみられることをお勧めいたします。
福祉用具は、利用者様の「安全・安心・快適」を生み、住み慣れた我が家で生活するための
必須アイテムです。また自立に繋がるための新しい商品が次々と開発されています。
福祉用具で「できること」を見つけ、ご自分の可能性を
発見していただきたいと思います。

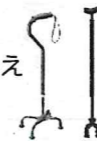


介護保険住宅改修・福祉用具機器のレンタル・販売はおまかせください！

車いす



歩行
補助つえ



設置型
手すり



歩行器



トイレ用
フレーム



特殊寝台



折りたたみ可能
面手すり



転倒事故は防げるか？

～新しい転倒骨折事故防止対策～

平成30年度介護サービス質の向上研修会が9月28日、鹿児島市で行なわれました。「介護事業者のリスクマネジメント～転倒事故防止と事故対応における管理者の役割」と題して、講師の山田滋氏（株式会社 安全な介護 代表取締役）が転倒について、様々な問題提起やアドバイスをされました。（以下、当日の資料を参考に作成しました。）

事故は複数の原因が絡み合って（複合要因で）起こる！

利用者がなぜ ふらついたのか？

- ・疾患の影響
- ・障がいの影響
- ・体調不良
- ・服薬の悪影響
- ・機能低下
- ・認知症の影響
- ・服装・靴や福祉用具
- ・利用者の性格



介助方法は適切だったか？

- ・介護職の体調不良
- ・無理な介助動作
- ・動作しにくい服装や靴
- ・介護職の心のコンディション
- ・介護職の知識不足
- ・介護職の性格

安全な車椅子だったか？

- ・使いにくい古い福祉用具
- ・高すぎるベッドなどの動作環境
- ・滑りやすい床
- ・浴槽内の階段
- ・居室の硬い床
- ・暗い居室
- ・設備の貧弱なトイレ
- ・立ち上がりにくい椅子

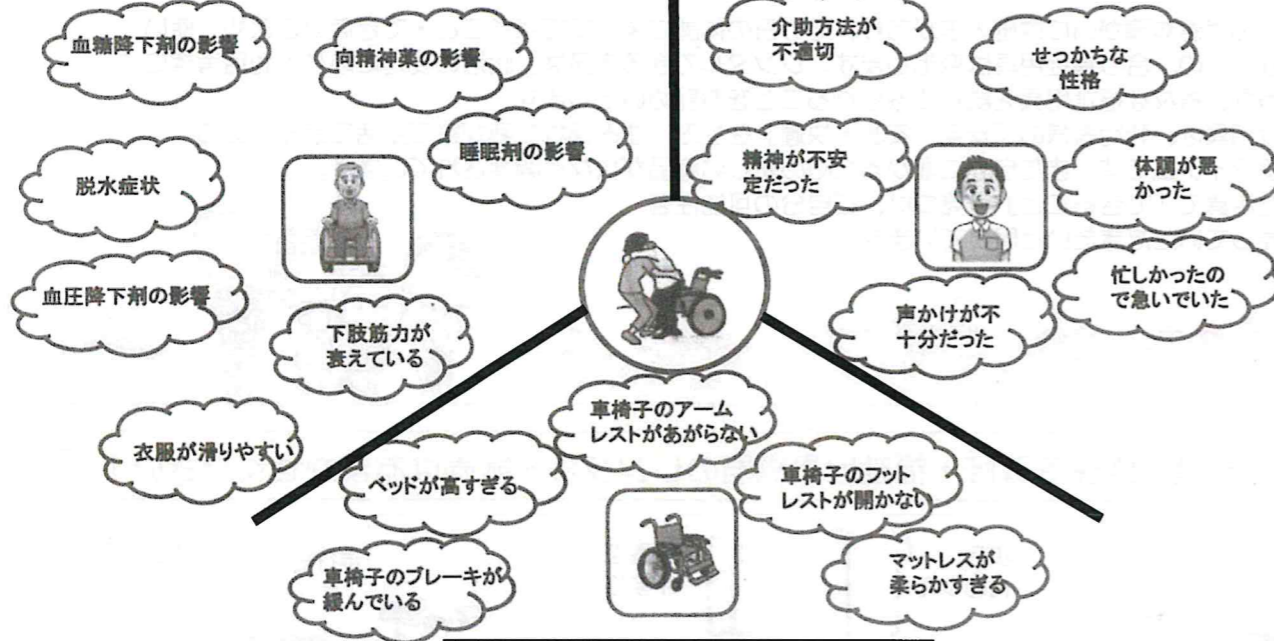
事故原因は1つではない。多角的に広い視点で原因を分析する。

利用者側の原因

服薬の影響、疾患の進行など利用者それぞれの原因がある
→ 疾患・体調により変動する利用者の最新の情報を介護・看護する人が共有する

介護者側の原因

見守り不足が原因？
防ぐべき転倒事故と防げない転倒事故を同等に扱っていないか？
→ 無理な介助動作の改善
介護職員の対処には限界があるのでは？



設備・用具など環境の原因

管理体制、用具点検の習慣化、経年劣化機器・用具の見直しなど

機器・用具は新しいのが高価ということはない。安全性・効率を考慮し、購入に際しては、現場スタッフ（実際使用し、携わる人）の意見を反映させることは必須！

転倒の3割は薬が原因といわれています。

服薬の影響による転倒事故が多くの高齢者に起きています。高齢者の服薬見直しの実用書「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」では服薬見直しの実践を主眼に置き、弊害のある服薬の中止の判断において、中止すべき根拠がはっきりしているのか？その代替薬は何が推奨されるのか？など服薬変更のリスクとメリットが比較できるようにしています。降圧薬、血糖降下剤、抗精神病薬、抗不安薬、睡眠薬などが、転倒や認知症の方のBPSD悪化を招かないよう、情報をアセスメントに活かしたいですね。



研修会で紹介された書籍 山田滋氏の著書

転倒のヒヤリハット！

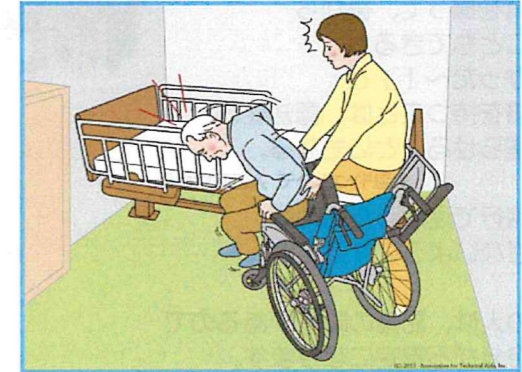
各事業所では危険予知活動「ヒヤリハット」などを報告し、介護職員の注意喚起や申し送り事項としますが、職員全員に行き渡らず、翌日事故（骨折）という例がたくさんあるようです。

トイレへ立位乗車をしようとした時、フットサポートが急に倒れ、前方に倒れそうになった。



解説
大きなクガにつながるとても危険な事例。通常フットサポートを跳ね上げた時は、ある程度の固さで保持され容易に倒れませんが、メンテナンス不足などで倒れやすくなる場合もあります。常に安全な状態で福祉用具を維持することに注意を払うべきです。そもそもフットサポートの固定がゆるい機種もありますので、可能であれば機種を変更するなど、予防的な対策をすることもお勧めします。

スライディングボードの設置位置が悪く、すべり出した時点で、前方へすべり落ちそうになった。



解説
スライディングボードは基本的には座位が安定している人のための乗車用具です。座位の不安定な人に利用すると、このようなヒヤリ・ハットが起こりやすいといえます。また、安全な利用には適切な乗車技術をも身につけることが必要です。

（テクノエイド協会 ヒヤリハット例より）

今回の研修は、介護施設の案件が中心でしたが、自宅での転倒にはいろいろな原因があります。すべる、けつまづく、落下などが原因で骨折、入院、その後介護施設へという方が多いですね。まず自宅の生活環境を安全に転びにくくすること、そして、転んでも骨折しにくい工夫が大切です。防災と同じで、起こる前の備えです。気がついたところから、まずひとつ改善してみましょう。

安全ですか？

- ・玄関・勝手口の段差は？
- ・浴槽の深さ・またぎは安全か？
- ・浴室の床は滑らないか？
- ・トイレの立ち座りはスムーズか？
- ・足元に電気コードはないか？
- ・ベッドの高さは自分に合っているか？
- ・照明は暗くないか？
- ・階段・廊下は手すりがあるか？
- ・床材は滑りやすくないか？
- ・靴（スリッパ）は滑りやすくないか？
- ・絨毯の端めくれはないか？
- ・衣類は動きやすく身にあっているか？
- ・服薬でふらふらしたことはないか？

転んでも骨折しにくい工夫



プロテクターパンツ

転倒による衝撃で大腿骨骨折等が起こるのを少しでも緩和するようパッドが入っています。

ヨガマットなどをベッド足元に

起き上がり直後のふらつきや、転倒に備えヨガマットのような低反発性があり、滑りにくい素材のものを。ホームセンターなどで格安で販売されています。

